

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	現在のケース記録の内容からは、介護計画が実践されているかどうかわかりにくい。何のために記録しているのか、何故記録が必要なのかをスタッフ全員で考え、理解していくことが必要。	スタッフ全員が、記録する意味を理解して、介護計画の実践状況がわかりやすい記録を行うことができるようになる。そのことを、モニタリングや介護計画の作成に役立て、反映させることができる。	①記録する意味や必要性、具体的な記録方法などについて勉強会を開く。②スタッフ全員が記録について共通の理解を持つ。③日々記録を行いながら、他スタッフの記録を読んで参考にしたり、話し合いながらよりわかりやすい記録へと繋げていく。	12ヶ月
2	35	これまで、避難訓練は各部署と合同で実施していたが、間隔も遠く回数も少なかった。避難訓練を経験していないスタッフもいる。グループホームの火災事故を受け、危機感をもって独自の避難訓練を実施していく必要がある。	①全員が、日常的に火災防止の意識を持つことができる。②利用者の命を守る、自分の命を守る為には何が必要か、考え続ける。③定期的に避難訓練を実施し、いざと言う時に落ち着いて行動出来るようにする。	話し合っていた内容をまとめ、すずな独自の避難訓練を定期的実施する。実施後は、必ず振り返りをして、スタッフ全員に伝達し、次の避難訓練に活かしていく。法人内でも話し合い、他部署や地域住民との具体的な協力体制を検討していく。	12ヶ月
3	33	今まで看取りに至るようなケースがなかった為、看取りについて具体的に検討する機会が殆どなかった。スタッフ一人ひとりの意見を聞いたり、他職種等との話し合いも出来ておらず、看取りを実施する準備が整っていない。	他職種との連携など具体的な取り決めができる。スタッフ一人ひとりが、看取りについて考え、気持ちを一つにして、向き合うことができる。	スタッフ一人ひとりの意見を聞きながら、話し合いを進めていく。他職種等と話し合い、具体的な連携などについて検討していく。ご家族にも意見を伺う。看取りについて勉強会を開く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。